

# 令和3年度 携帯電話等の利用状況アンケート 【 児童生徒アンケート結果 】



徳島県教育委員会 人権教育課 いじめ問題等対策室

## アンケート対象【児童生徒】

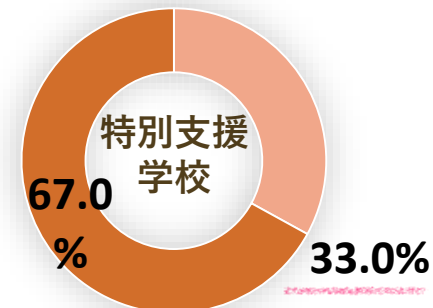
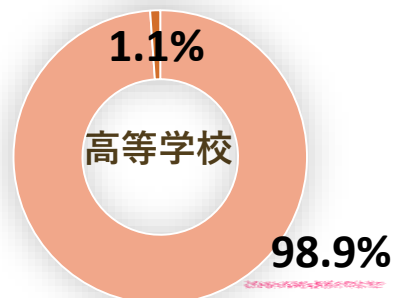
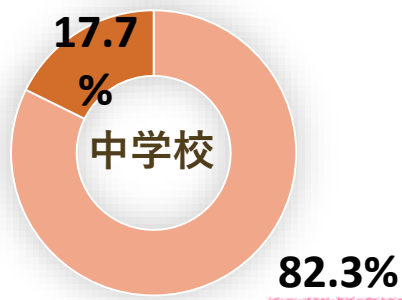
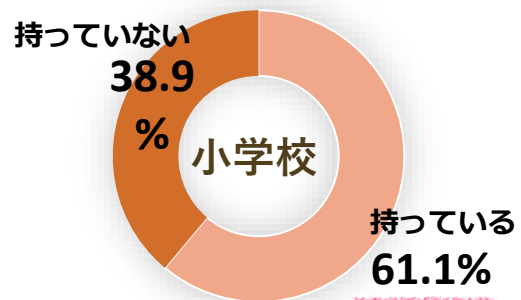
小学校	16校	回答者数	728人 (6年生)
中学校	9校	回答者数	773人 (2年生)
高等学校	5校	回答者数	739人 (2年生)
特別支援学校	11校	回答者数	143人 (高等部生)

**総回答者数 2,383人**

※小・中・高等学校については、アンケート依頼校の該当学年全員が対象  
特別支援学校については、高等部在籍者のうち携帯電話を学校に持参している生徒が対象

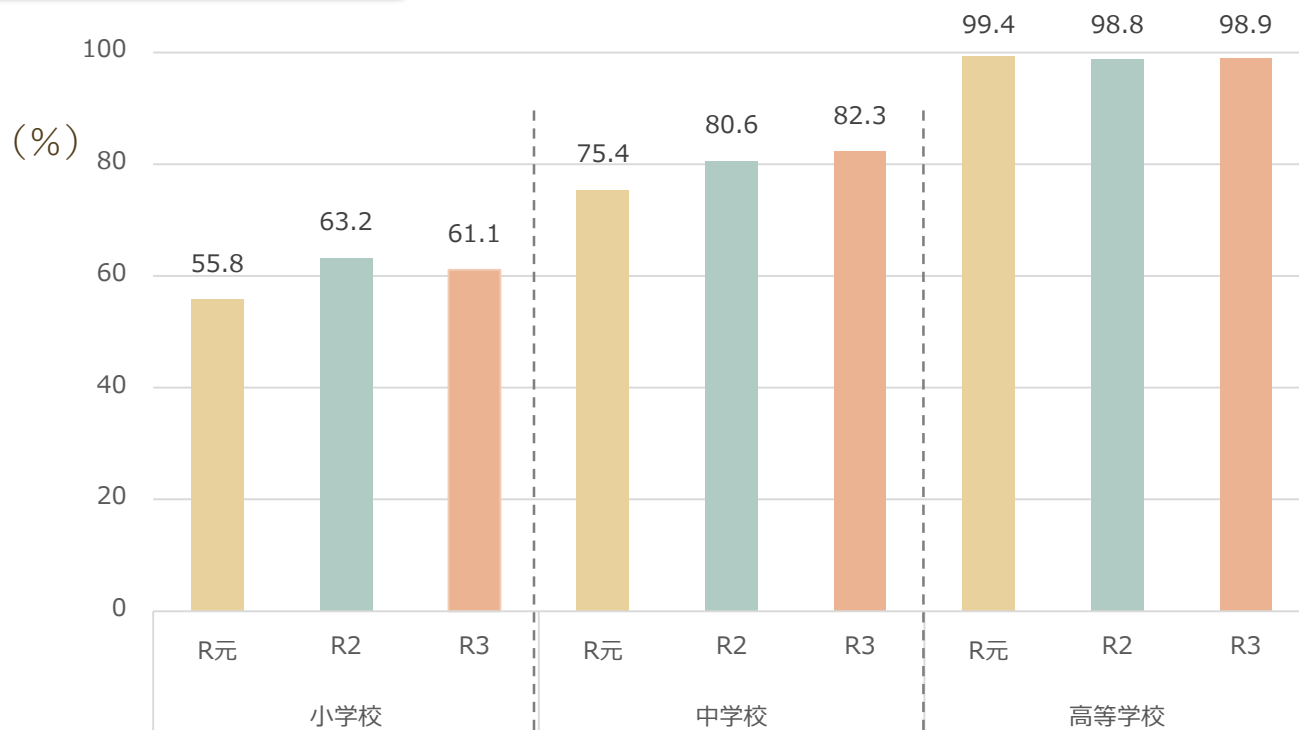
※全国調査数値については、内閣府の「令和2年度青少年のインターネット利用環境実態調査」の結果を参照

# 携帯電話の所持率



※高等部総在籍者  
415人が対象

## 【3か年比較】

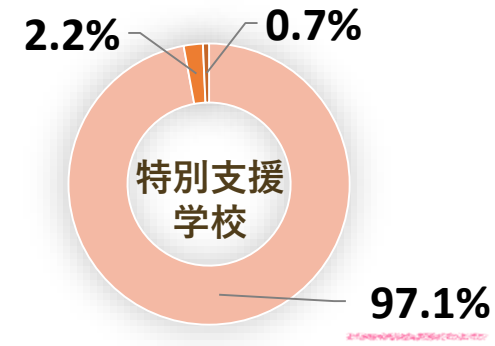
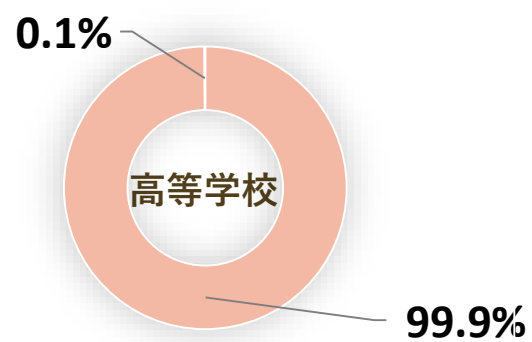
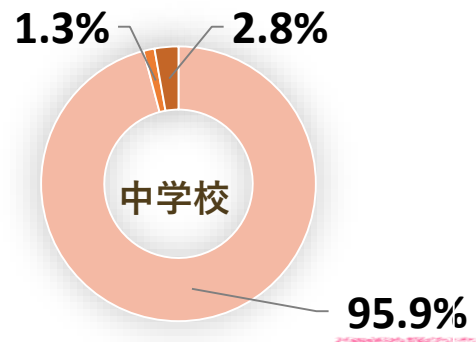
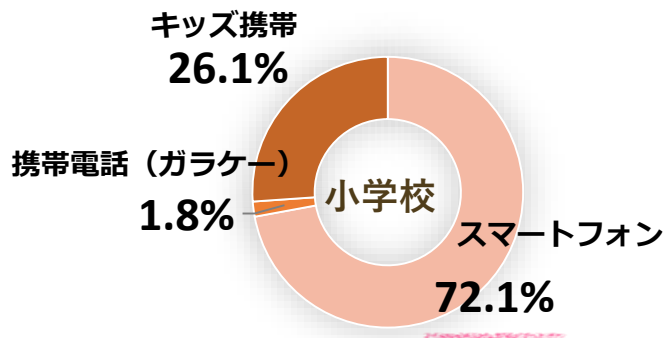


小学生の所持率 3か年横ばい (約6割)  
中学生の所持率 3か年横ばい (約8割)  
高校生はほぼ全員所持

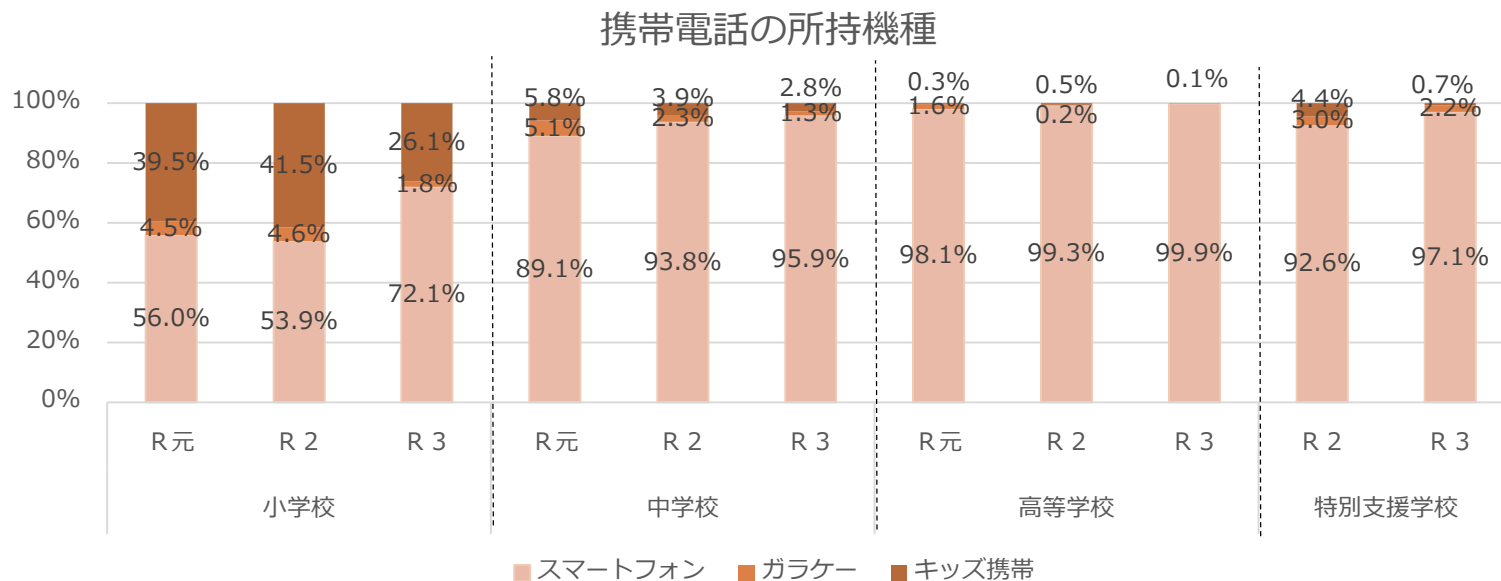
特別支援学校 (高等部) の所持率 33.0%

※特別支援学校の調査は昨年度より高等部のみ実施  
所持率のみ特別支援学校高等部全生徒数で換算

# 携帯電話の所持機種



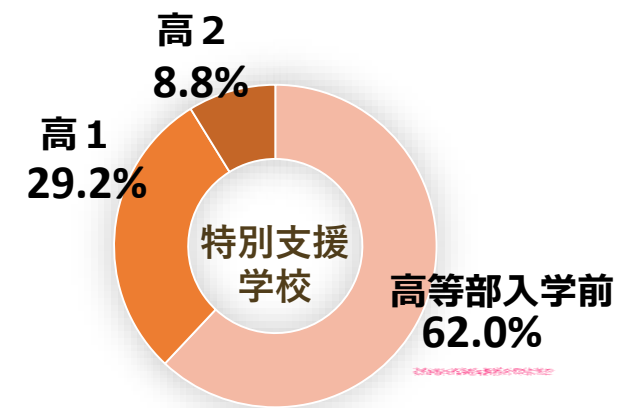
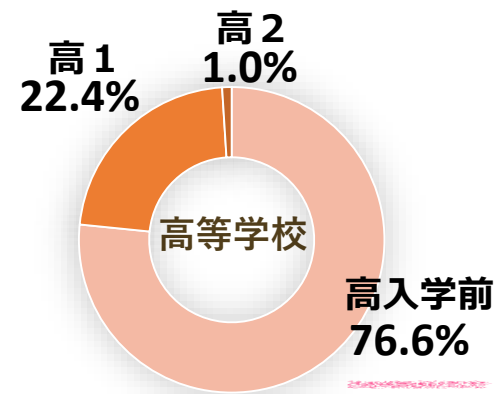
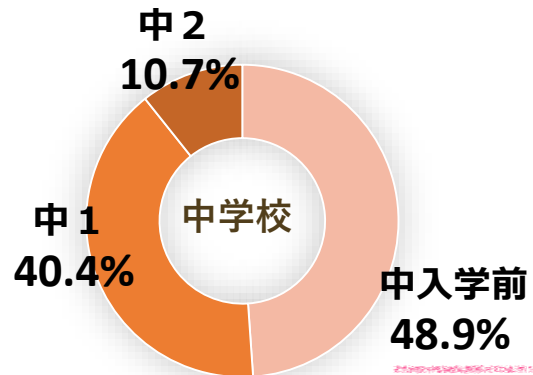
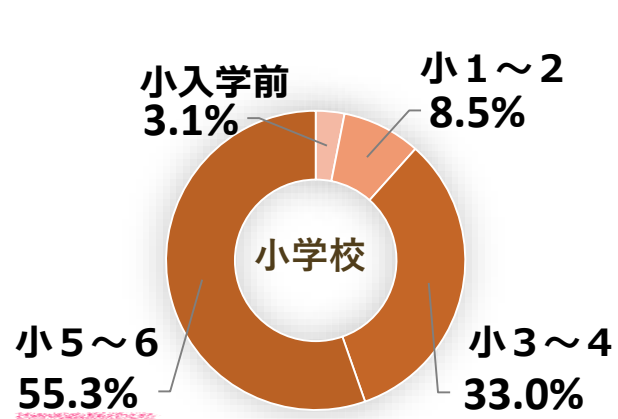
## 【3か年比較】



小学生の所持機種  
キッズ携帯より  
**スマートフォン**  
が多い

中学生・高校生  
特別支援学校生  
の所持機種は、ほぼ  
**スマートフォン**

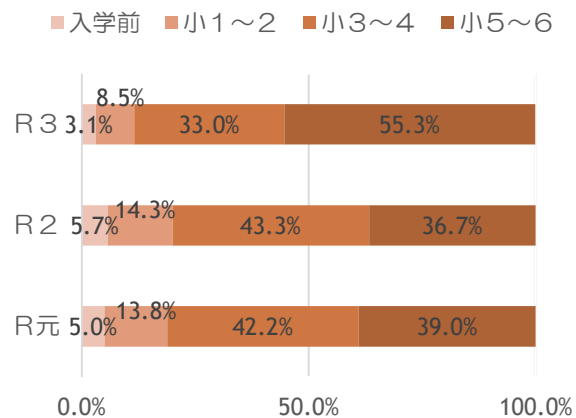
# 携帯電話を所持し始めた時期



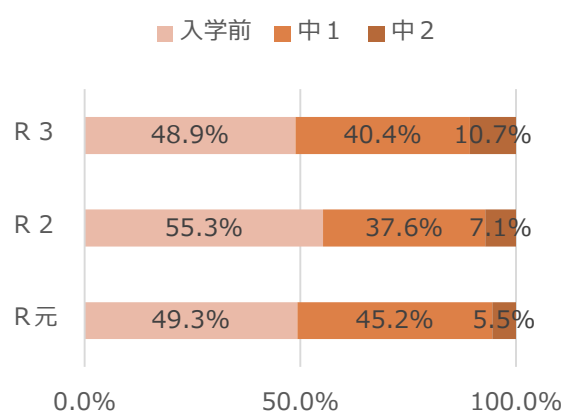
## 【3か年比較】

小学生は約9割が小3以降に所持。中・高・特別支援の生徒は入学前からの所持が多数を占める。

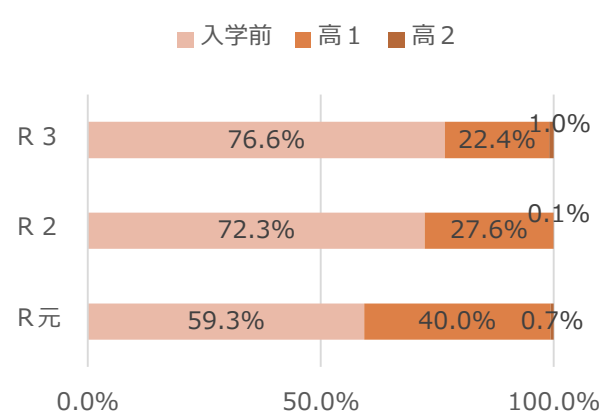
小学校



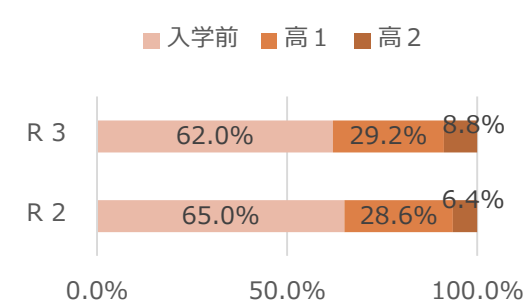
中学校



高等学校

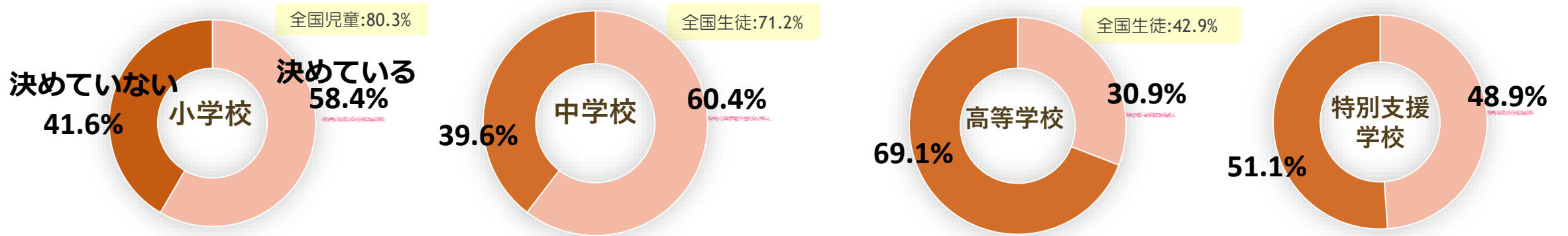


特別支援学校





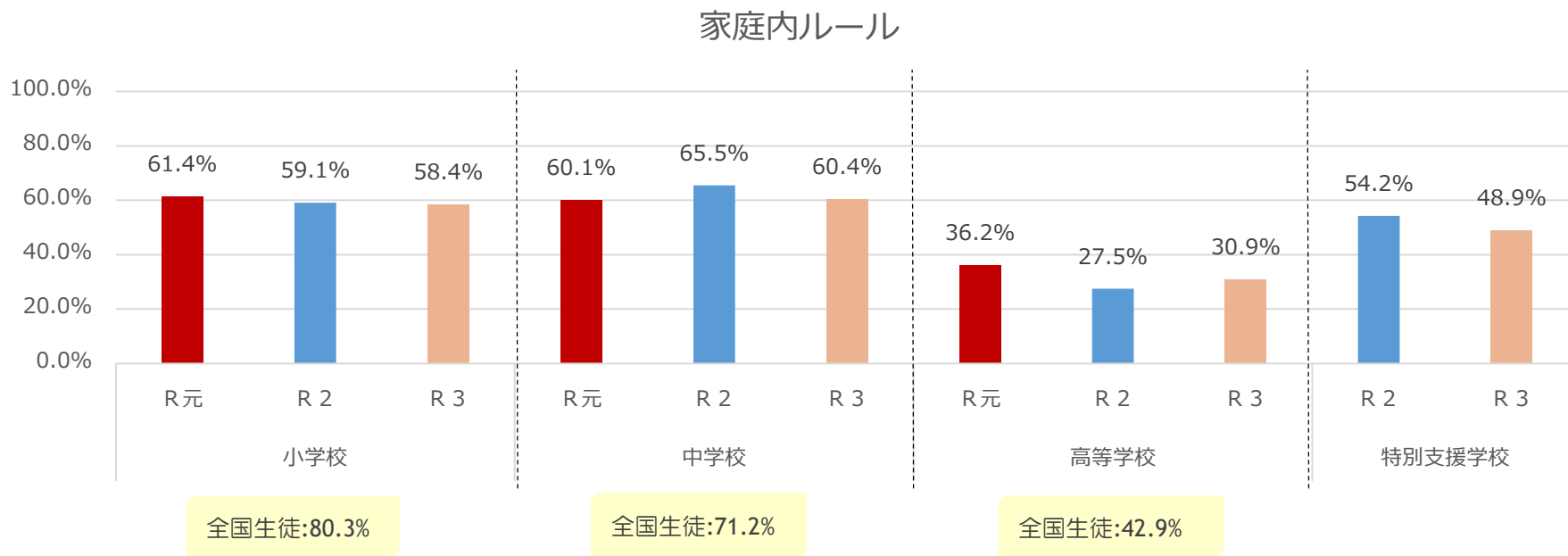
# 携帯電話に関する家庭内ルール



## 【3か年比較】

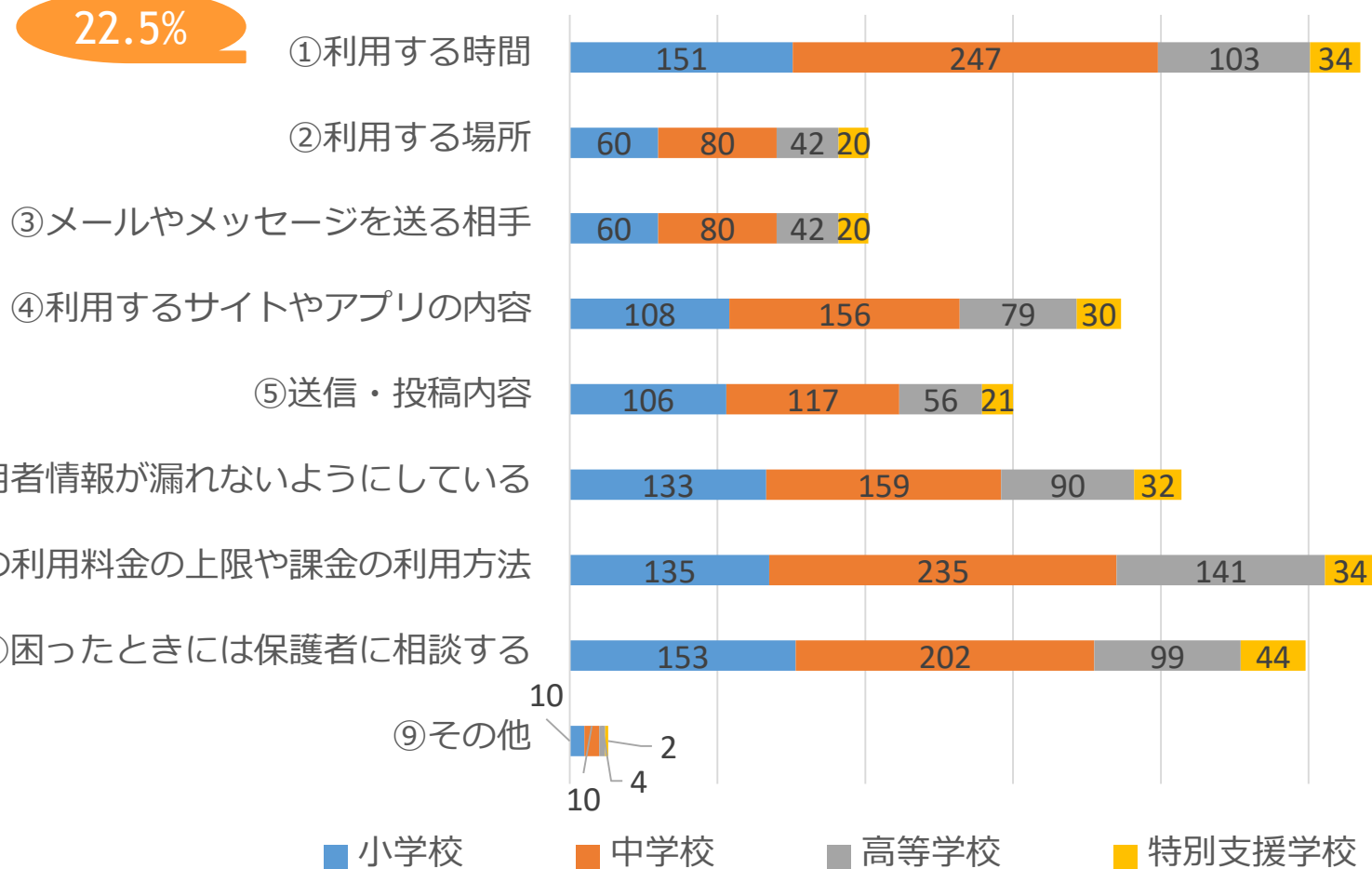
全国と比較するとルール設定率が低い

小学生 58.4%  
中学生 60.4%  
高校生 30.9%  
高校生になるとルール減少



# ルールの内容（\*複数回答可）

0 100 200 300 400 500 600 (人)



22.5%

①利用する時間

②利用する場所

③メールやメッセージを送る相手

④利用するサイトやアプリの内容

⑤送信・投稿内容

⑥利用者情報が漏れないようにしている

22.9%

⑦ゲームやアプリの利用料金の上限や課金の利用方法

20.9%

⑧困ったときには保護者に相談する

⑨その他

小・中・高・特支  
総数 2383人

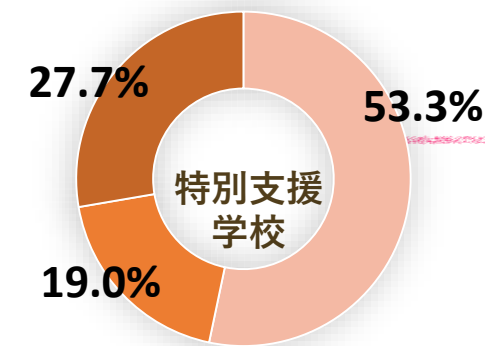
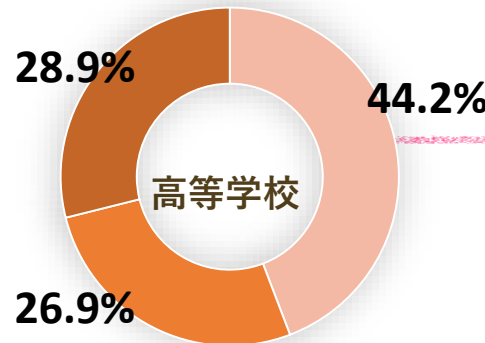
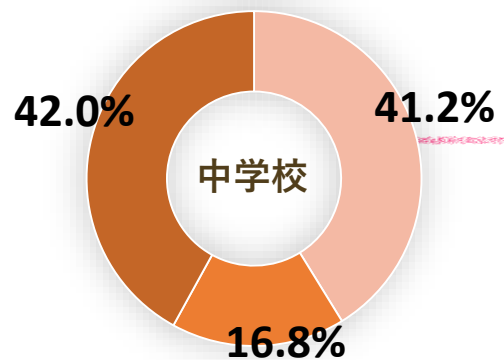
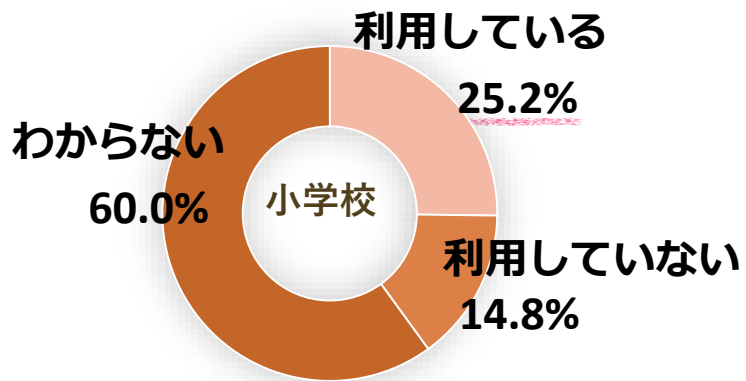
■ 小学校

■ 中学校

■ 高等学校

■ 特別支援学校

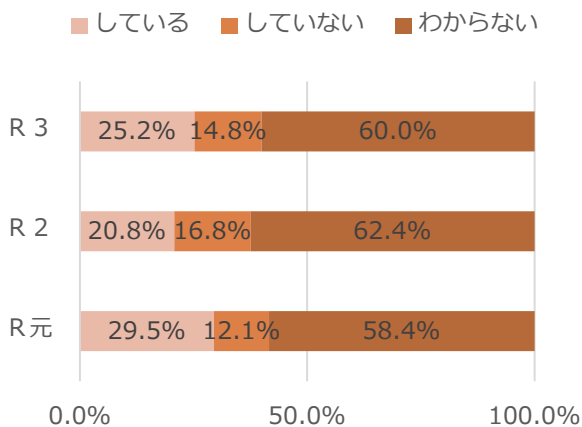
# フィルタリングの利用率



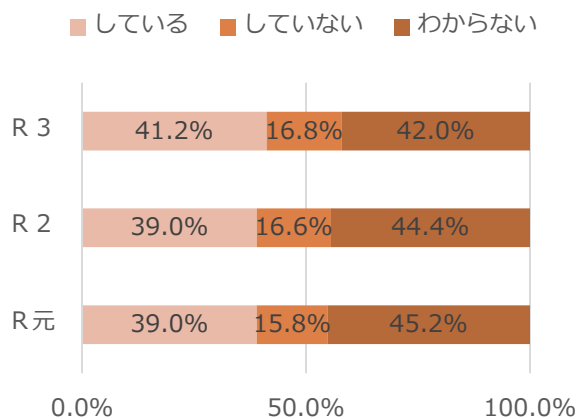
## 【3か年比較】

フィルタリングの利用率は3か年で大きな変化はみられない。校種が上がるほど「わからない」と回答する生徒は減少している。

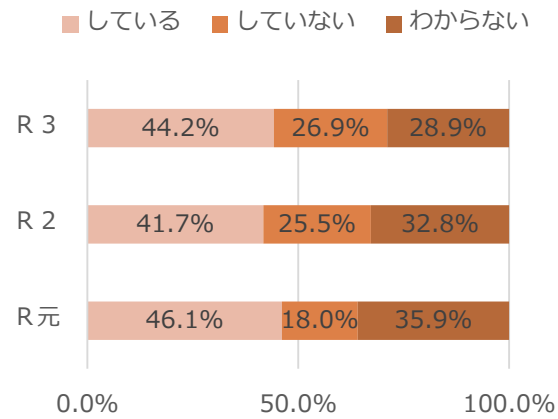
小学校



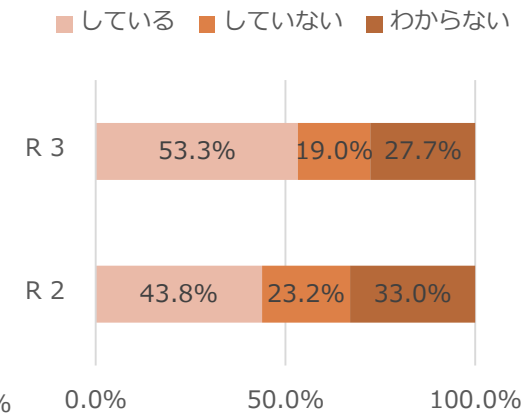
中学校



高等学校

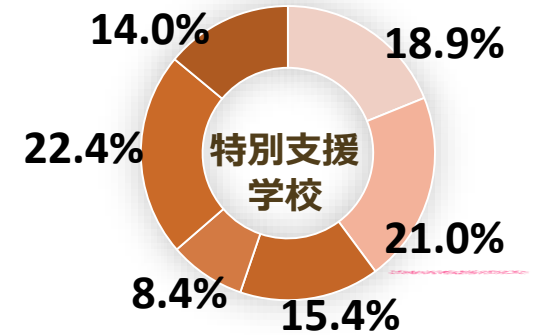
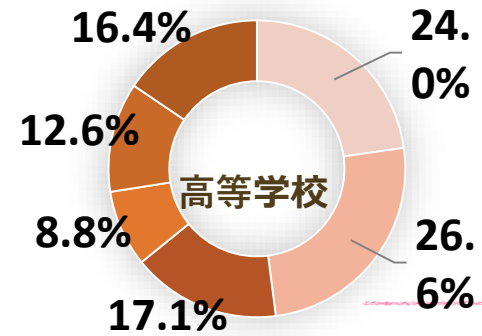
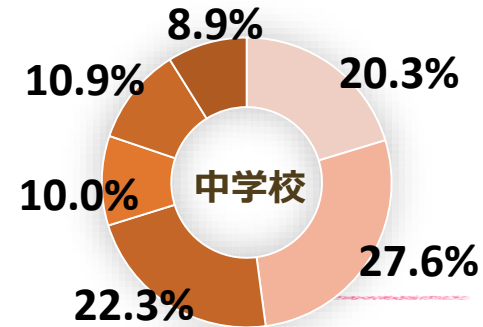
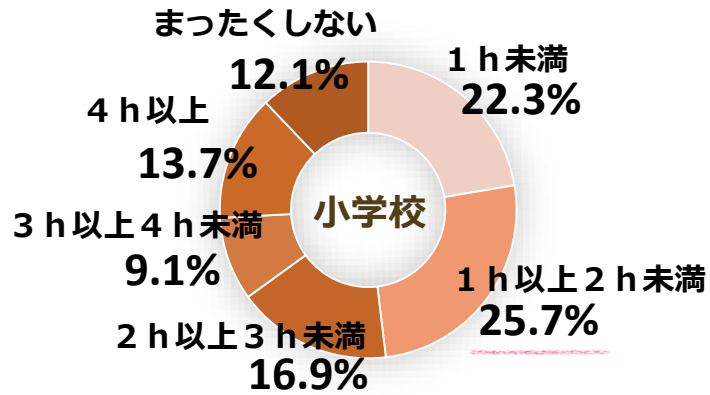


特別支援学校





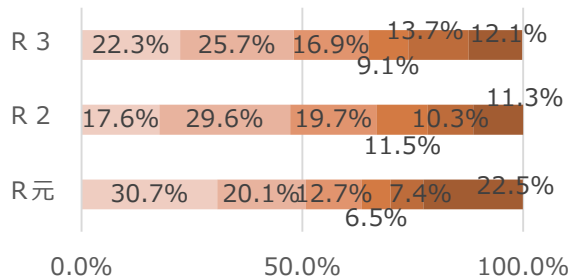
# ゲームの時間（\*平日1日あたり）



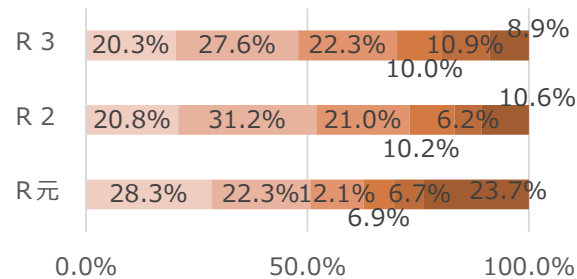
前年度同様、1 h以上2 h未満が最多となり、4 h以上が各校種で増加する結果となっている。

## 【3か年比較】

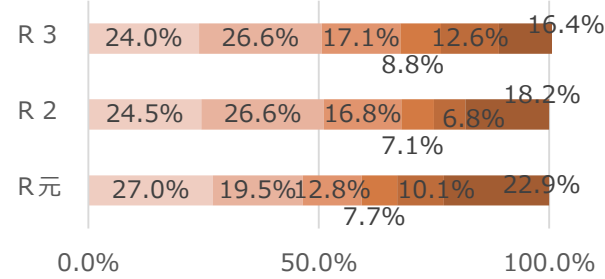
小学校



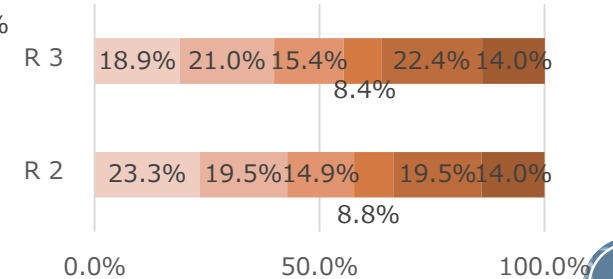
中学校



高等学校

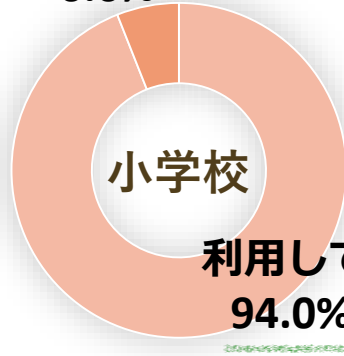


特別支援学校



# インターネットの利用

利用していない  
6.0%

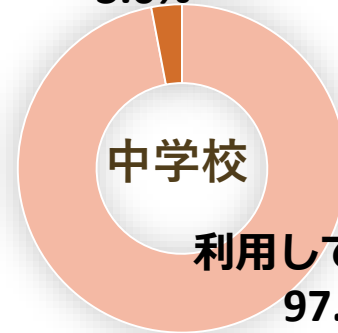


小学校

全国児童:90.5%

利用している  
94.0%

利用していない  
3.0%



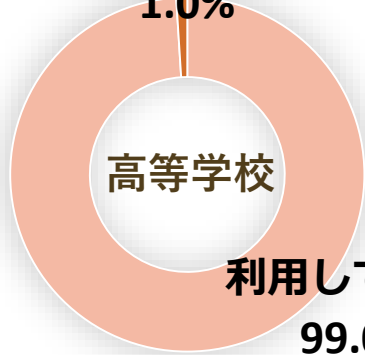
中学校

全国生徒:97.4%

利用している  
97.0%

全国比較:どの校種も, ほぼ同数で利用率は高い

利用していない  
1.0%

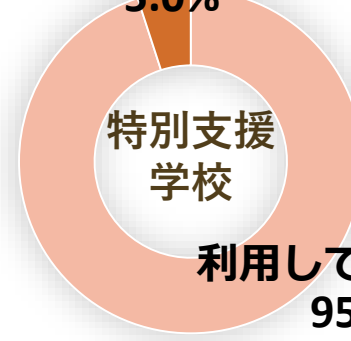


高等学校

全国生徒:98.9%

利用している  
99.0%

利用していない  
5.0%

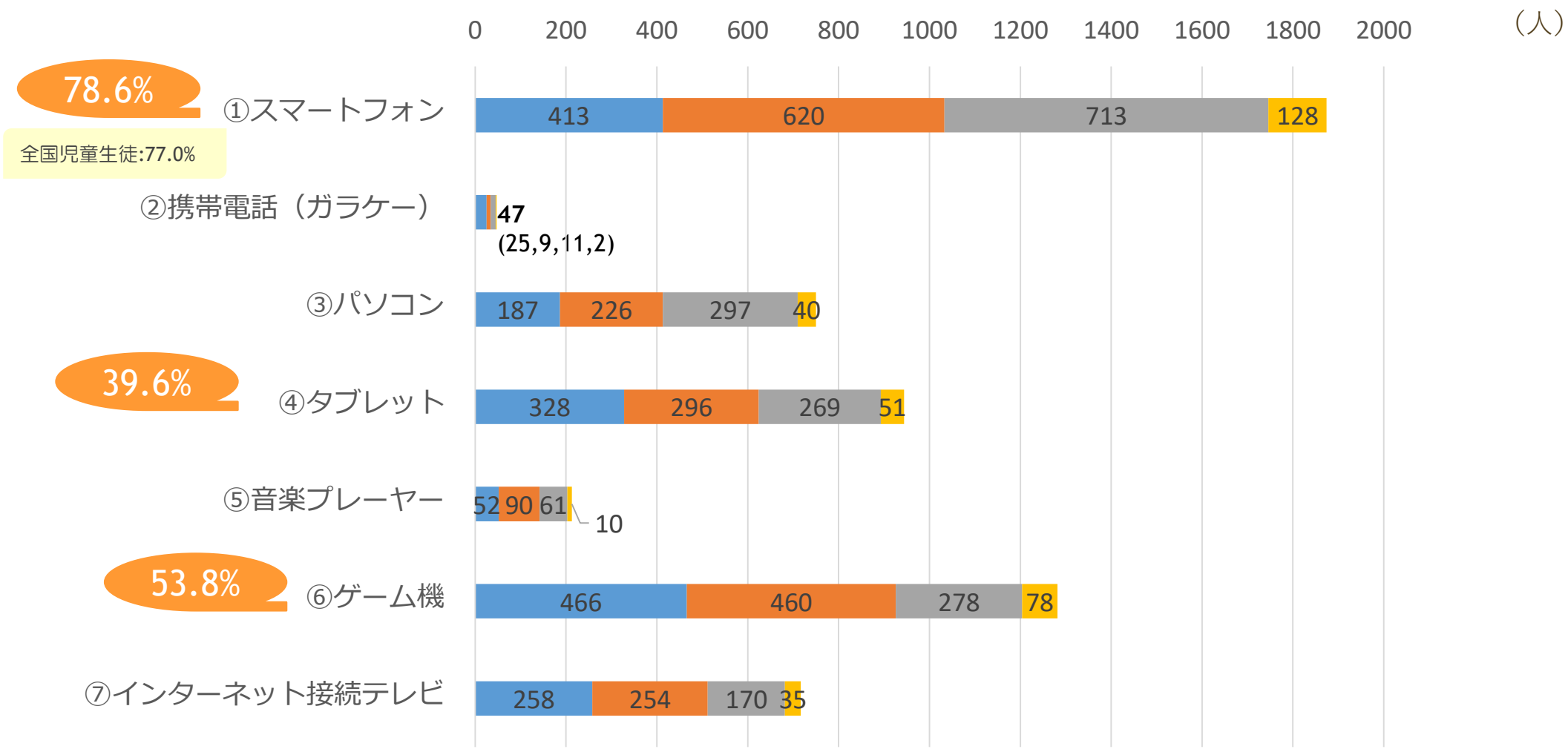


特別支援  
学校

利用している  
95.0%

児童生徒の  
校種に関係なく,  
インターネットの  
利用率は高い。

# インターネットの利用機器（\*複数回答可）



小・中・高・特支  
総数 **2383**人

全国児童生徒上位3機器  
①スマートフォン  
②タブレット  
③パソコン

■ 小学校 ■ 中学校 ■ 高等学校 ■ 特別支援学校

# 利用機器の所有（\*複数回答可）

全国児童生徒:82.7%

73.4%

①自分専用

33.0%

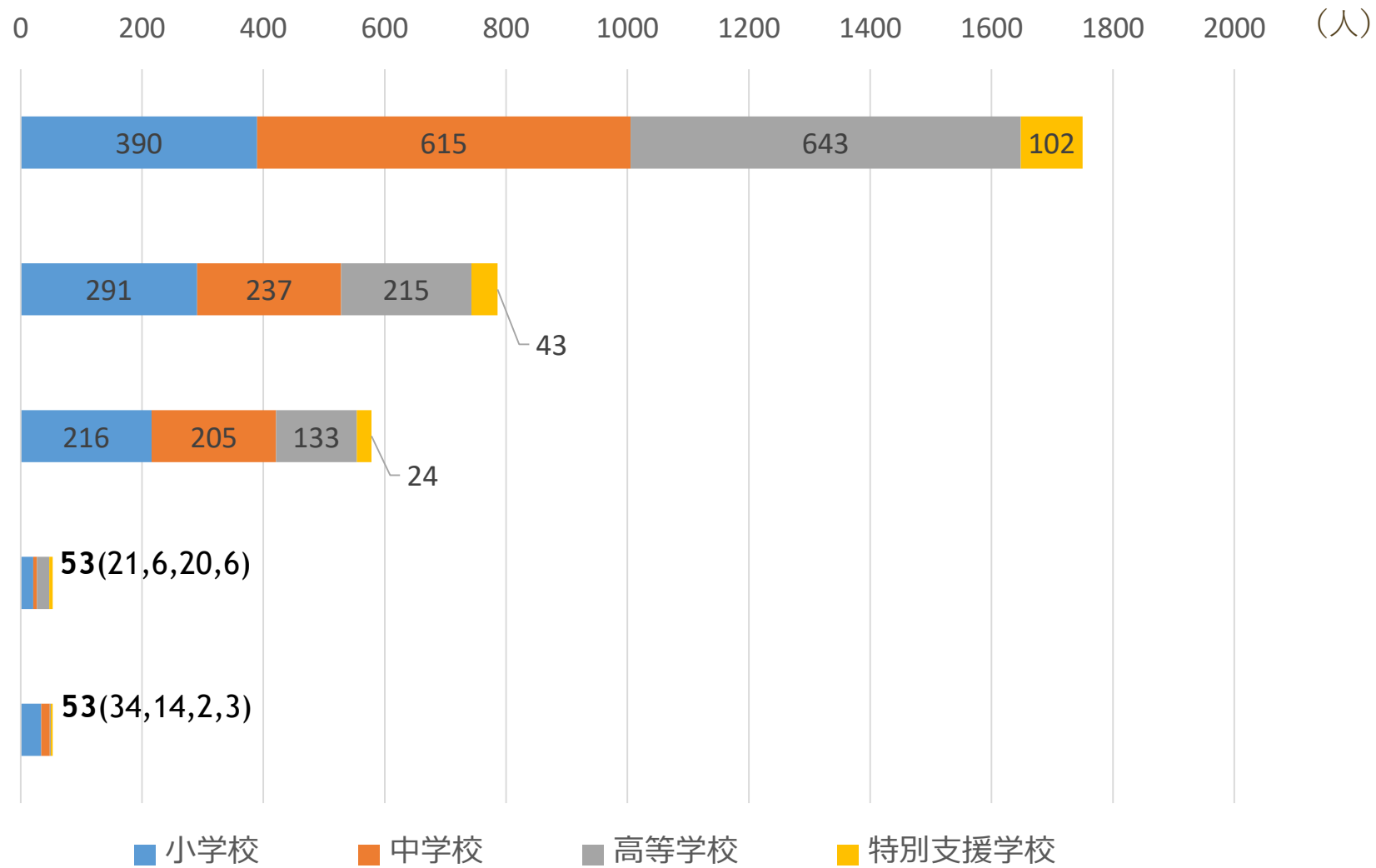
②親と共用

24.3%

③兄弟姉妹と共用

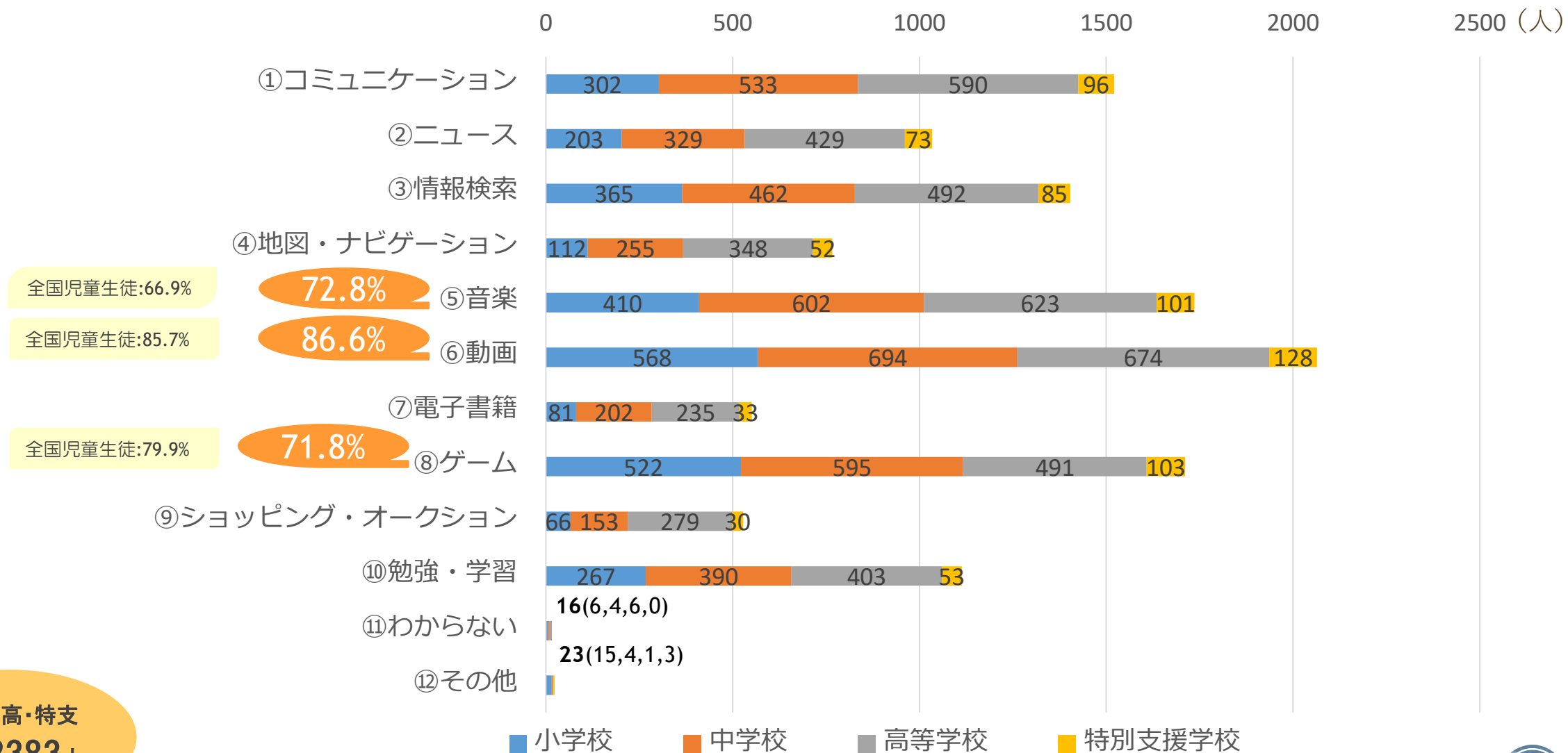
④わからない

⑤その他



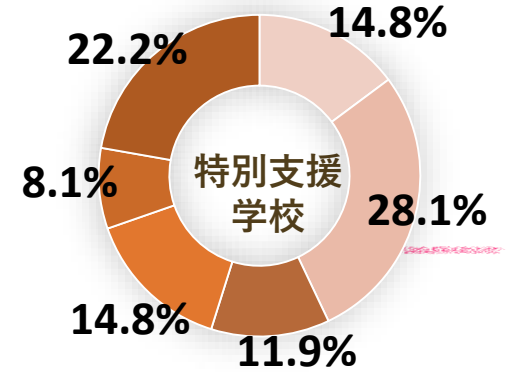
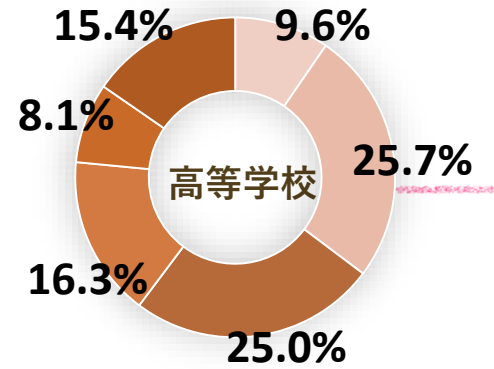
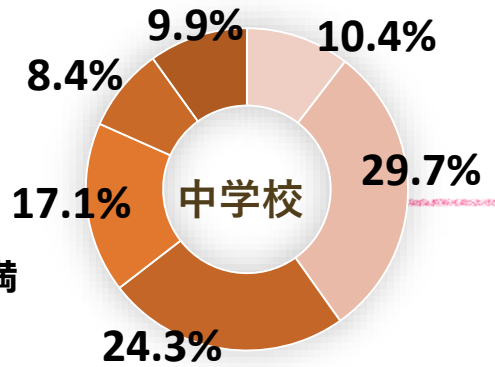
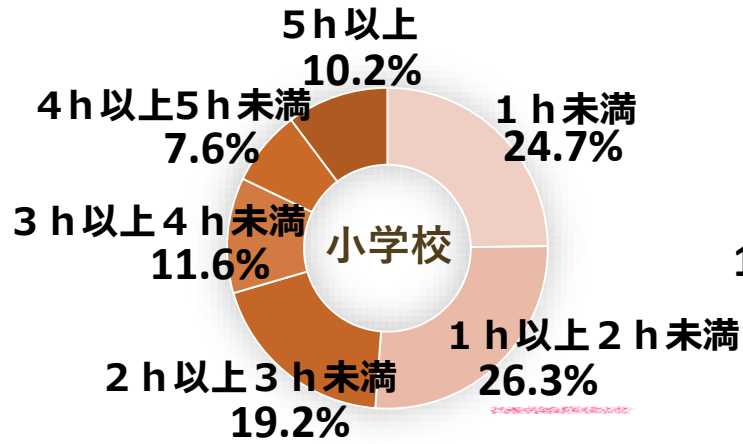
小・中・高・特支  
総数 2383人

# インターネットの利用目的（\*複数回答可）





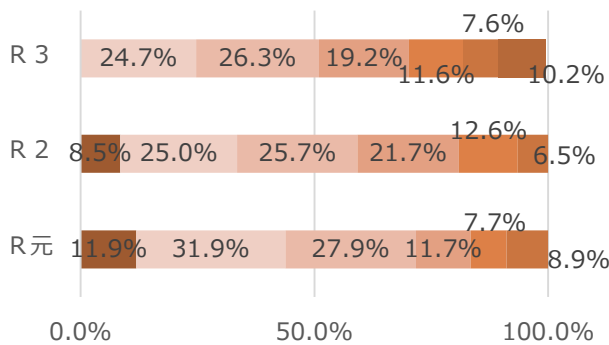
# インターネットの利用時間①（\*平日1日あたり）



## 【3か年比較】

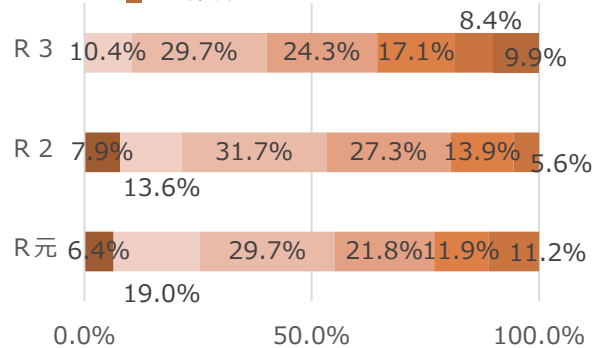
小学校

- わからない
- 1時間未満
- 1～2時間未満
- 2～3時間未満
- 3～4時間未満
- 4～5時間未満
- 5時間以上



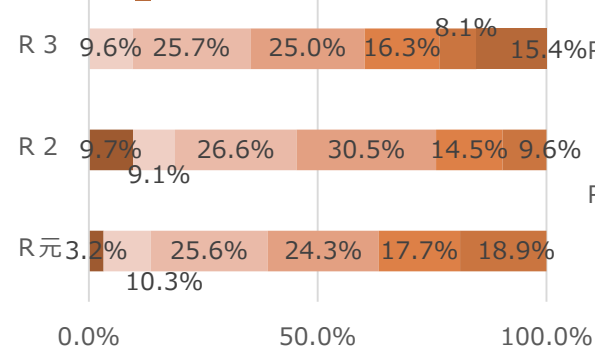
中学校

- わからない
- 1時間未満
- 1～2時間未満
- 2～3時間未満
- 3～4時間未満
- 4～5時間未満
- 5時間以上



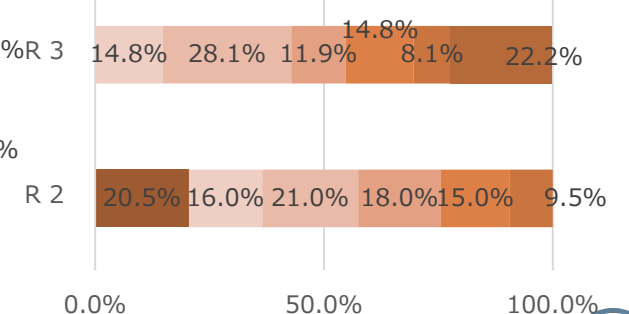
高等学校

- わからない
- 1時間未満
- 1～2時間未満
- 2～3時間未満
- 3～4時間未満
- 4～5時間未満
- 5時間以上



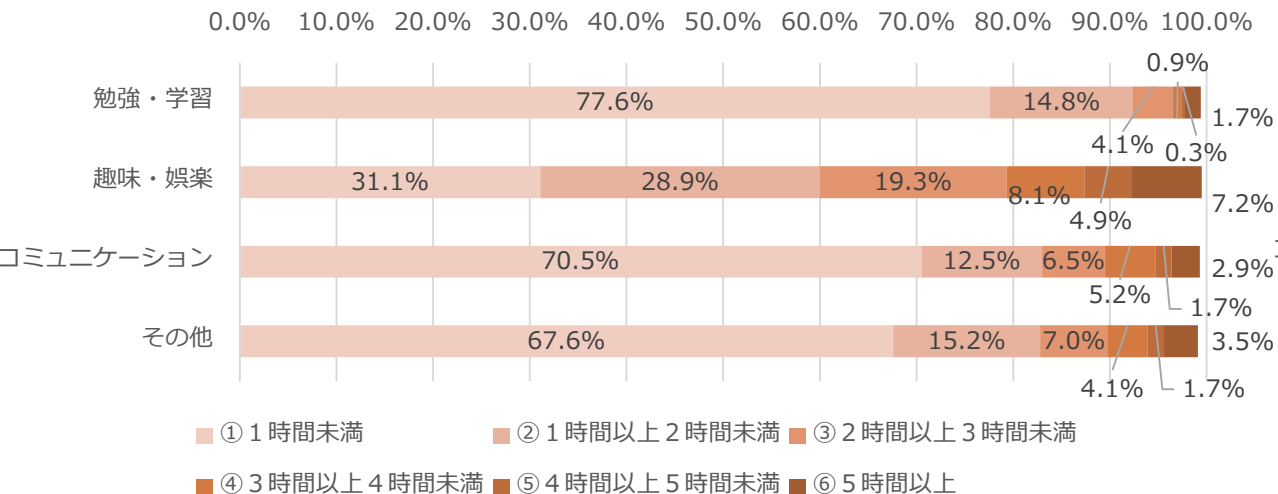
特別支援学校

- わからない
- 1時間未満
- 1～2時間未満
- 2～3時間未満
- 3～4時間未満
- 4～5時間未満
- 5時間以上

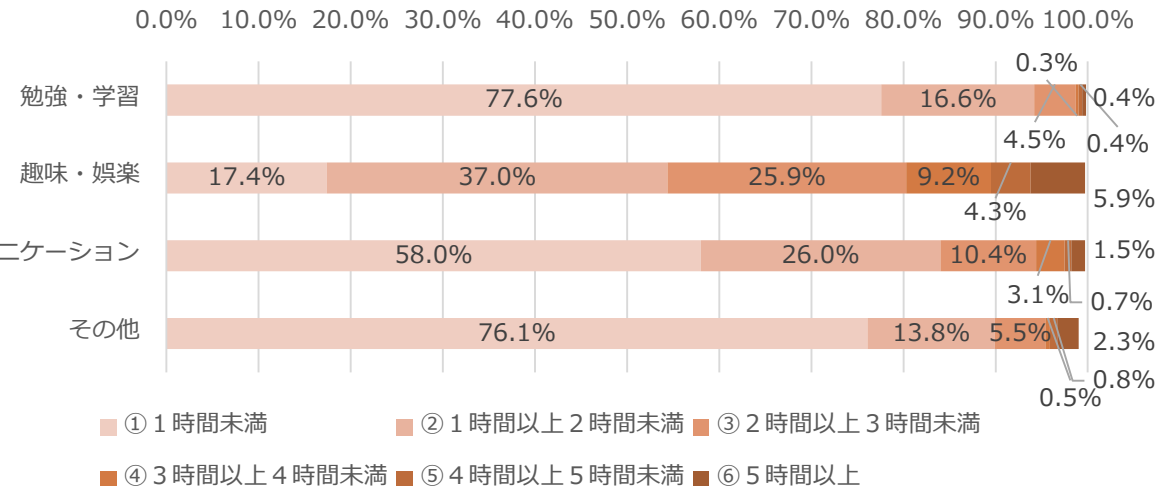


# インターネットの利用時間②（\* 目的別/平日1日あたり）

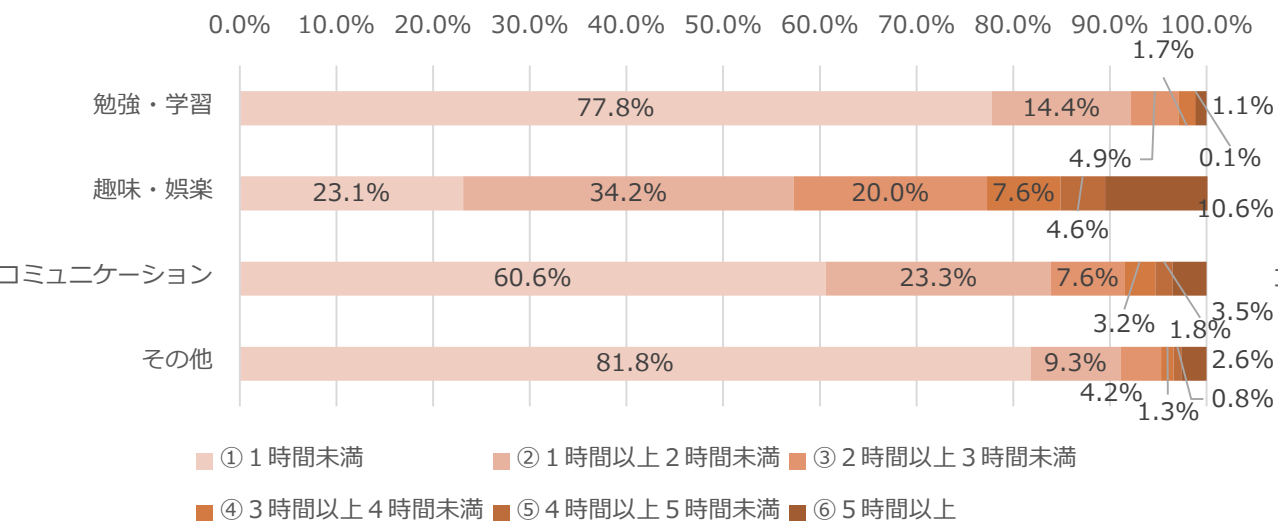
## 小学校



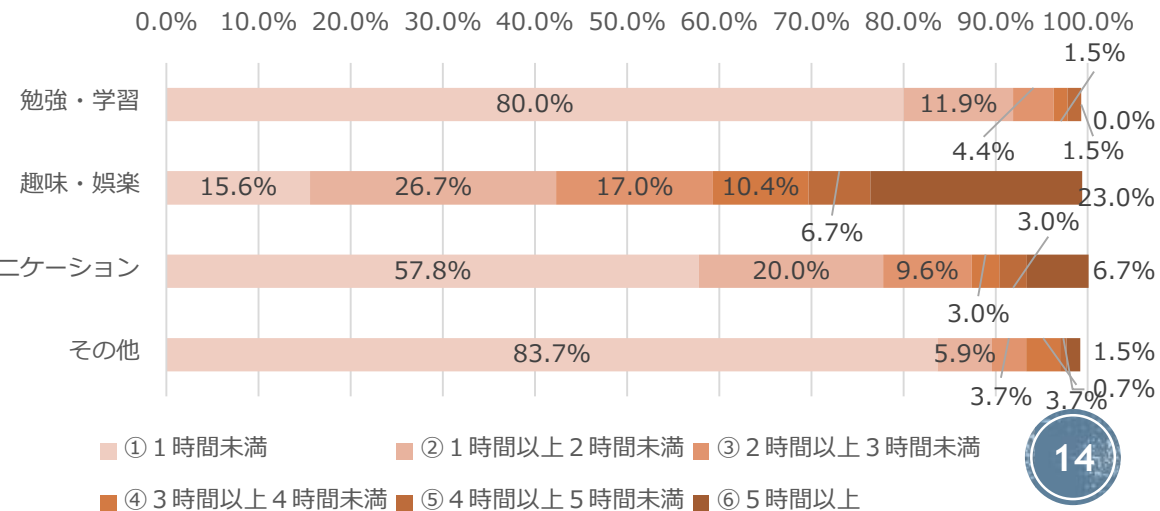
## 中学校



## 高等学校



## 特別支援学校



# インターネット上の経験（\*複数回答可）

0 200 400 600 800 1000 1200 (人)

8.6%

①悪口や嫌がらせのメッセージやメールを送られたり、書き込みをされたりしたことがある

36 65 83 22

②悪口や嫌がらせのメッセージやメールを送ったり、書き込みをしったりしたことがある

49(5,14,24,6)

③他人が見ることができるSNS等で自分の情報を書き込んだことがある

118(10,39,61,8)

④他人が見ることができるSNS等で他人の情報を書き込んだことがある

45(2,11,25,7)

⑤親に話しにくいサイトを見たことがある

2154 86 14

⑥ゲームやアプリでお金を使いすぎたことがある

3453 54 12

22.3%

⑦迷惑メッセージやメールが送られてきたことがある

49 160 289 34

⑧インターネットで知り合った人と会ったことがある

109(30,26,47,6)

25.6%

⑨インターネットに夢中になり勉強に集中できなかつたり、睡眠不足になつたりしたことがある

109 235 231 35

⑩インターネットでトラブルに遭い、親・先生・友人等に相談したことがある

35453413

42.5%

⑪あてはまるものがない

390 329 228 66

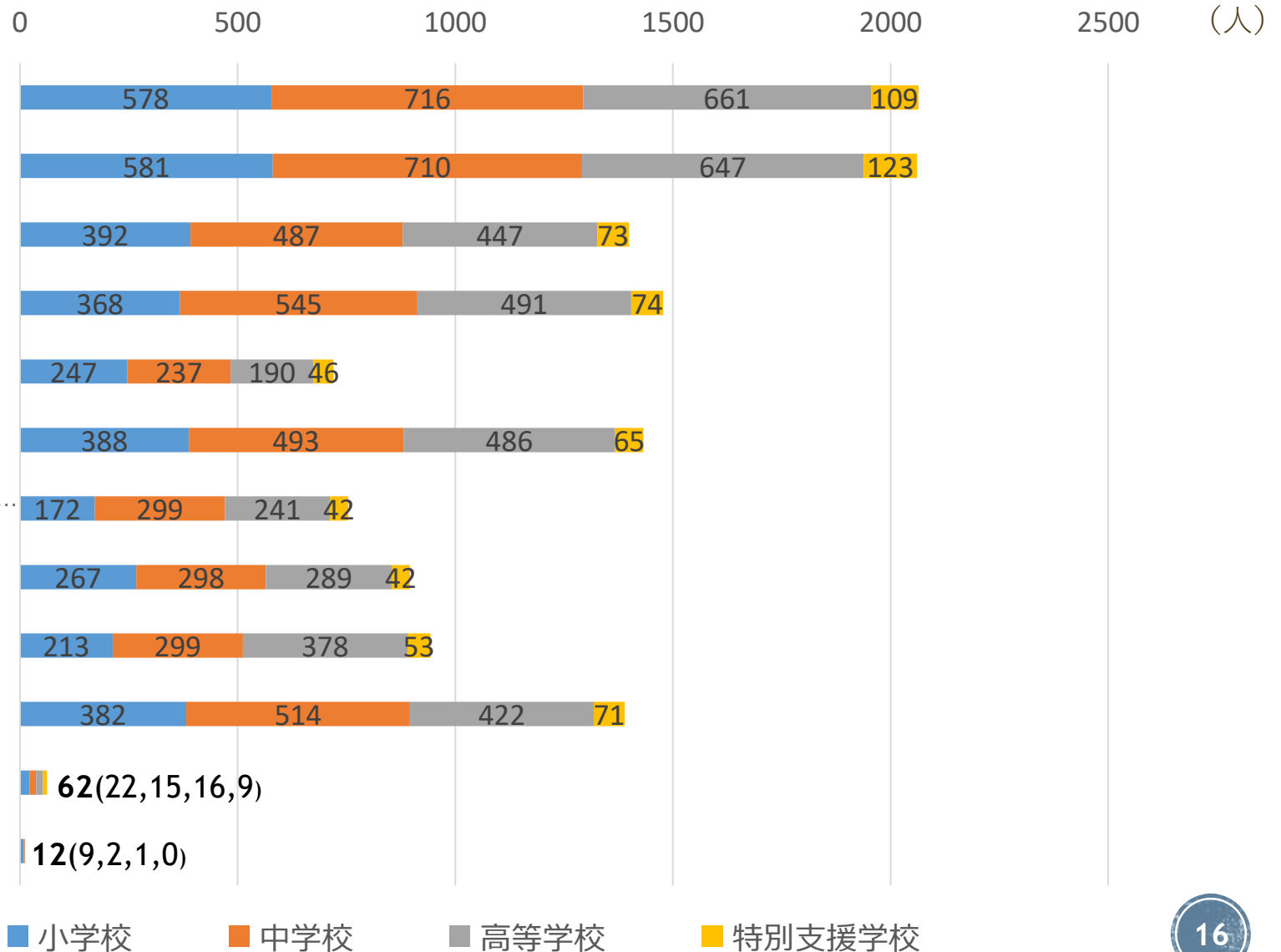
⑫その他

20(14,6,0,0)

■ 小学校 ■ 中学校 ■ 高等学校 ■ 特別支援学校

小・中・高・特支  
総数 2383人

# インターネットの利点（\*複数回答可）



86.6%

①興味関心があることや知りたいことがすぐ調べられる

86.5%

②動画や音楽等を簡単に見たり聴いたりできる

③いろいろな事がわかり、自分の世界が広がる

62.0%

④友人や知人とのコミュニケーションが盛んになる

⑤家族とのコミュニケーションが盛んになる

⑥遠く離れた人ともつながることができる

⑦対面では伝えられないこともインターネット上では伝えること...

⑧勉強等が効率的にできるようになる

⑨買い物がすぐできるようになり便利になる

⑩緊急時の情報が収集でき、家族等との連絡が速やかにとれる

⑪あてはまるものがない

⑫その他

小・中・高・特支  
総数 2383人



# 安全・有効利用のための心がけ【主な記述内容】

## 小学生

- ウィルス除去や詐欺ブロックの設定をする
- アダルトなどの危険なものは見ない
- ネットで知り合った人と会わない
- 課金しない、悪口を送らない
- 家族とルールを決める
- 個人情報をもらさない
- Twitterなどをあまり見過ぎない
- ゲームで知らない人と関わらない
- 困ったことがあれば親に相談する

## 高校生

- 個人情報の取り扱いの厳重化
- 情報モラルに気を付けて使用したい
- 情報リテラシーをつける
- リスク管理しながら正しい使い方をする
- 情報の発生源の確認をする
- 無駄にだらだらとスマホを使わない
- 人を傷付ける内容は絶対に投稿しない
- 悪質なサイトにアクセスしない
- 将来自分の不利になる投稿、発言はしない
- 夜はスマホを親に預ける
- ネットに居場所を作らない

## 中学生

- SNSに自分の情報を書かない
- フェイクニュースなど信じないようにする
- リアルで会うようなことは断る
- 画面との距離を離す、使用時間を減らす
- 利用状況を親と共有する
- 誹謗中傷しない
- 事件に巻き込まれないように気を付けたい
- 使用時間の見直しをする
- 安全で安心できるアプリを使用していきたい

## 特別支援学校 高等部生

- 個人情報を書き込まない
- 他者が不快に思うようなことを書き込まない
- 変なサイトや変なメールは開けない
- IDやパスワードを教えない
- スпамには気を付ける
- お金を使う際には親と相談する
- スマホ以外の娯楽などをして依存症を防ぐ
- 寝る前にスマホをいじらない
- 過度な詐欺商品等の怪しい広告を見ない
- 必要以外の事は利用しない
- メールなどは言葉を考える